

沼津市リノベーションまちづくりシンポジウム 2022

～沼津駅周辺のこれまでとこれから～



OPEN NUMAZU 2022
沼津駅南口の歩道と車道の
一部を使った社会実験



新仲見世商店街
アーケード撤去を契機とした
道路空間再編プロジェクト



週末の沼津
沼津中央公園を使った
定期マーケット

沼津市では、2015年から始まったリノベーションまちづくりの取組により、多くの事業や活動が創出されてきました。そのネットワークが広がり、沼津を楽しむ人たちが、市内のあらゆる場所で増えてきています。リノベーションまちづくりが単に遊休不動産の活用に留まらず、より豊かで持続可能な地域を育むための、新しい展開を見せています。一方、今後本格化する沼津駅周辺総合整備事業においては、ウォークラブル（居心地が良く歩きやすい）なまちを目指して新しい公共空間が生まれていきます。人がいきいきと過ごす公園や道路などの公共空間を作ってきたゲストをお招きし、これまでの沼津市リノベーションまちづくりを振り返りながら、これからの沼津での暮らし、沼津のまちづくりを考える講演会を開催します。

SCHEDULE

日時: 6月27日(月) 18:00～20:00 (開場 17:30)

会場: 沼津ラクーン6階 (沼津市大手町 3-6-1)

※新型コロナウイルス感染拡大の状況により、開催方法を変更する場合があります。

PROGRAM

1. 開会
2. 沼津市のリノベーションまちづくりと、沼津駅周辺整備を契機としたまちづくりとの接続～これまでの成果と今後の取り組み～
3. 講演「ウォークラブルな公共空間の使い方」
 - (1) 国土交通省大臣官房技術審議官 (都市局担当) 渡邊 浩司 氏
 - (2) 株式会社まめくらし 代表取締役 青木 純 氏
 - (3) トークセッション
モデレーター: (株)サルトコラボレイティブ 代表取締役 加藤 寛之 氏
4. 閉会

APPLICATION

申込方法: 右記の QR コード (電話、e-mail も可)

申込期限: 6月27日(月)12:00

※会場の都合により先着 80 名とさせていただきます。

※参加費は無料です。



GUEST



渡邊 浩司 氏

国土交通省 大臣官房技術審議官 (都市局担当)、
日本大学客員教授、博士 (工学)

1962 年生まれ。東京大学工学部卒業。1985 年、旧建設省に入省。国や地方公共団体で主に都市計画・都市整備分野の業務に従事。2014 年から豊島区副区長としてリノベーションまちづくり、南池袋公園整備やグリーン大通り利活用に携わる。国土交通省都市局街路交通施設課長、同市街地整備課長を経て 2020 年から現職。豊島区等での経験を活かし、ウォークラブルなまちづくりの推進に取り組んでいる。



青木 純 氏

沼津市リノベーションまちづくりアドバイザー
株式会社まめくらし 代表取締役 / 株式会社 nest 代表取締役 / 他

生まれ育った豊島区池袋を舞台にリノベーションまちづくりやウォークラブルな公民連携事業に取り組む。南池袋公園 / グリーン大通りを舞台にして 2017 年から取組む『KEBUKURO LIVING LOOP』ではイベントからハード整備につなげ、新たなまちの個性となる「まちなかリビングのある日常」を地元企業、商業施設、飲食事業者と共に育む。コミュニティが価値を育む「青豆ハウス」「高円寺アパートメント」等の企画運営を通して主宰する「大家の学校」で愛ある大家の育成にも取組む。2021 年より国土交通省『ひと』と『くらし』の未来研究会 コアアドバイザー。奈良市公園マネジメント基本計画懇話会メンバー。



加藤 寛之 氏

沼津市リノベーションまちづくりアドバイザー
都市計画家 / 株式会社サルトコラボレイティブ 代表取締役

都市計画家・高田昇に師事。1999 年大学卒業後、半年間イタリアを放浪する。同年兵庫県水上市柏原町 (現・丹波市) に移住。築 140 年の町家をリノベーションしたイタリア料理店 Olmo のプロデュース・運営に携わる。2007 年に大阪府枚方市で地元有志と「くらわんか五六市」を立ち上げ、まちに変革を起こす青空市 (定期マーケット) を全国に先駆けて展開。2008 年街サルトコラボレイティブ設立。関わる地域では法人設立等によりエリア再生に主体的に関わることを基本とする。また、住まいのある大阪阿倍野にて良き商いを守り育てる Buy local、自ら経営する STAY local (宿) と THE MARKET Bakery 等まちの期待値を高めるムーブメントをライフワークとして取り組む。